

平成 19 年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）の 結果に関する指導改善策

調査の概要

1. 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図る。

2. 実施日 平成 19 年 4 月 24 日（火）

3. 対象 小学校 6 年生及び中学校 3 年生

4. 調査内容

| | | | |
|--------|------|-----------------|---|
| 学力調査 | 「知識」 | 国語 A 算数・数学 A | ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題 |
| | 「活用」 | 国語 B 算数・数学 B | ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容(主として「活用」に関する問題)を中心とした出題 |
| 学習状況調査 | | 児童・生徒 質問紙調査 | ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面、等に関する質問紙調査 |

学力調査(中学校)の結果

1. 教科に関する調査結果(平均正答率)

| | 国語 A | 国語 B | 数学 A | 数学 B |
|---------|------|------|------|------|
| 上下中学校 | 84.3 | 76.0 | 76.9 | 63.5 |
| 府中市 | 80.8 | 71.0 | 73.6 | 60.0 |
| 広島県(公立) | 82.4 | 72.0 | 73.3 | 60.6 |
| 全国(公立) | 81.6 | 72.0 | 71.9 | 60.6 |

平均正答率とは、「生徒の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。調査結果をみるにあたっての指標の一つであり、学力のすべてを表すものではありません。

2. 調査問題の趣旨と内容

| 区分 | 問題の趣旨と内容例 |
|---------------|---|
| 国語 A (37問) | <p>基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) 手紙の後付けの適切な書き方を選択する。 文学的な文章に描かれた場面と表現についての適切な説明をする。 電話の相手の話に不足している情報について質問する。 漢字を正しく書き、正しく読む。適切な敬語を選択する。</p> |
| 国語 B (10問) | <p>基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ロボットと共存する未来社会について想像し、自分の考えを書く。 「蜘蛛の糸」(芥川龍之介)の「三」の場面の有無に関して、自分の考えを80字以上120字以内で書く。 中学生が作成した広告カードに共通して書かれている情報を書く。</p> |
| 数学 A (36問) | <p>数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) 正の数と負の数の四則計算、整式の計算をする。一元一次方程式、連立二元一次方程式を解く。 文字式や方程式の意味をよみとる。 証明をよみ、三角形の合同条件を答える。 反比例のグラフ、一次関数のグラフを選ぶ。</p> |
| 数学 B (17問) | <p>数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例) レストランのセットメニューの合計金額をもとに、条件に合う注文をした人がいたかどうかを答え、その理由を求める。 総当たり戦の順位を決め方を求める計算式を、条件を基につくる。 線分の垂直二等分線の証明で、誤りの部分を指摘し、正しく書き直す。 グラフを基に2つの速さを比較し、どちらが速かったかを説明する。</p> |

3. 調査結果にみられる本校の特徴と課題

【国語】 (本校正答率【全国正答率】)

| 学習指導要領の領域 | 区分 | 特徴と課題 |
|--------------|-------------|---|
| 話すこと 聞くこと | A問題 (知識) | ...不足している情報に気付き、適切な表現で話し手に確かめる。 (92.6%【90.1%】) ...目的に沿った質問をする。(98.1%【92.1%】) |
| | B問題 (活用) | ...話すことの内容に応じて、適切な資料を提示する。 (81.5%【81.3%】) |
| 書くこと | A問題 (知識) | ...手紙の頭語について理解している。(96.3%【85.4%】) ...手紙の主文の書き出しの語について理解している。 (88.9%【80.6%】) ...手紙の後付けについて理解している。(74.1%【55.0%】) ...グラフから情報を読み取り、文章の結論につながるように書く。 (70.4%【72.4%】) 誤答についてみると、解答類型3(条件を満たし、条件を満たさない解答)を選んだ生徒が24.1%と最も多い。 |
| | B問題 (活用) | ...情報を基に、根拠を明らかにしながら、自分の考えが適切に相手に伝わるように書く。(83.3%【75.9%】) ...資料に表れているものの見方や考え方をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書く。(46.3%【42.6%】) 誤答についてみると、解答類型9を選んだ生徒が42.6%と最も多く、無解答の生徒も11.1%と多い。カードの内容や言葉を具体的に読み取ることはできていても、抽象化・一般化することができていないと考えられる。 |
| 読むこと | A問題 (知識) | ...語句の意味に注意して内容を読み取る。(94.4%【90.6%】) ...文脈における自然描写を的確に読み取る。(83.3%【70.0%】) |
| | B問題 (活用) | ...資料を比較して、共通して書かれている情報を読み取る。 (87.0%【73.2%】) ...表現の仕方の特徴をとらえる。(72.2%【73.1%】) 誤答についてみると、解答類型3を選んだ生徒が13.0%と最も多い。カードに不慣れであること、複数の資料を見比べて判断する機会が不十分であると考えられる。 ...作品の内容や表現上の特徴をとらえる。(77.8%【81.3%】) 誤答についてみると、解答類型3を選んだ生徒が11.1%と最も多い。内容説明として不適切であるということに気づいていないと考えられる。 |
| 言語事項 | A問題 (知識) | ...文の成分の照応に注意して書く。(94.4%【91.7%】) ...生活の場面で敬語を適切に使う。(98.1%【93.8%】) ...文脈に即して漢字を正しく読む。(20.4%【30.3%】) 誤答についてみると、解答類型3が37.0%と最も多く、無解答の生徒も27.3%と多い。 ...行書の書き方を理解している。(66.7%【78.3%】) 誤答についてみると、解答類型3を選んだ生徒が16.7%と最も多く、解答類型1を選んだ生徒も9.3%と多い。 |
| | B問題 (活用) | ...作品の一部を朗読する場合の適切な工夫を選択する。 (72.2%【68.5%】) 誤答についてみると、解答類型3が11.1%と最も多い。文章に描かれている大体のことは捉えられるが、細部について表現に即して読み取ることが不十分であると考えられる。 |

...相当数の生徒ができていない点 ...課題のある点

【数学】

| 学習指導要領の領域 | 区分 | 特徴と課題 |
|-----------|-------------|--|
| 数と式 | A問題 (知識) | <p>...指数を含む正の数と負の数の計算をすることができる。 (92.6%【88.3%】)</p> <p>...文字式に数値を代入して式の値を求めることができる。 (88.9%【83.1%】)</p> <p>...分数の除法の計算をすることができる。(87.0%【82.5%】)</p> <p>...円錐の体積を、底面が合同で高さが等しい円柱の体積との関係で理解している。(50.0%【36.5%】)</p> <p>誤答についてみると、解答類型2を選んだ生徒が31.5%と最も多い。底面積と高さがそれぞれ等しい柱体と錐体の体積の関係を、底辺と高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形の面積の比2:1と同じようにとらえていると考えられる。</p> |
| | B問題 (活用) | <p>...ものごとを発展的に考えることができる。(51.9%【40.9%】)</p> <p>誤答についてみると解答類型4を選んだ生徒が27.8%と最も多い。</p> |
| 図形 | A問題 (知識) | <p>...平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している。 (96.3%【91.3%】)</p> <p>...同じ弧に対する中心角と円周角の関係を理解している。 (94.4%【85.4%】)</p> <p>...円柱が長方形の回転により構成されていることについて理解している。(92.6%【86.7%】)</p> <p>...証明を読み、用いられた三角形の合同条件を理解している。 (66.7%【73.2%】)</p> <p>誤答についてみると解答類型3を選んだ生徒が14.8%と最も多い。(a)を「PMA = PMB」に書き直しているが、合同条件を抜かしており、合同条件を理解していないものと考えられる。</p> |
| | B問題 (活用) | <p>...証明の評価にもとづき、改善することができる。 (53.7%【47.9%】)</p> <p>誤答についてみると解答類型9を選んだ生徒が31.5%と最も多い。</p> |
| 数量関係 | A問題 (知識) | <p>...平均の意味について理解している。(92.6%【81.9%】)</p> <p>...比例の意味を理解している。(83.3%【83.2%】)</p> <p>...確率の意味について理解している。(40.7%【49.2%】)</p> <p>誤答についてみると解答類型2を選んだ生徒が42.6%と最も多い。「さいころを6回投げると、1回は必ず1の目が出る。」ととらえていると考えられる。</p> |
| | B問題 (活用) | <p>...情報を的確に処理し、その結果の比較することができる。 (92.6%【92.1%】)</p> <p>...グラフから情報を読み取り、事象に対応させて解釈することができる。(88.9%【88.4%】)</p> <p>...グラフ上の点の並び方を理想化し、単純化してとらえることができる。(40.7%【31.1%】)</p> <p>誤答についてみると解答類型9を選んだ生徒が33.3%と最も多い。</p> |

...相当数の生徒ができていない点 ...課題のある点

4 . 今後の指導改善策

【国語】

| 学習指導要領の領域 | 指導改善策 |
|--------------|--|
| 話すこと 聞くこと | ・伝える必要のある内容について簡潔なメモにまとめる力を身につけるために、意図や目的を考えてメモをとる活動を計画的に取り入れていく。 |
| 書くこと | ・収集した情報を整理し、自分の考えを書く力をつけるために、複数の資料を比較し、その共通点や相違点を整理させる活動を充実させる。 |
| 読むこと | ・作品の内容や表現上の特徴をとらえる力をつけるために、様々な文章の内容や構成、表現に注意しながら、的確に読み取らせる活動を充実させる。 ・古文の音読を反復練習させ、歴史的仮名遣いに慣れさせる取組みを充実させる。 |
| 言語事項 | ・漢字の指導に当たっては、毎日の漢字練習をさらに定着させ、目的を持って読んだり書いたりできるような指導の工夫をする。 ・行書の指導に当たっては、特徴を理解させるために、意識的に行書を用いて書く活動を充実させる。 |

【数学】

| 学習指導要領の領域 | 指導改善策 |
|-----------|--|
| 数と式 | ・柱体と錐体の体積の関係について、実験や実測を通して、実感を伴って理解できるようにする。 ・事柄が成り立つことを説明するために、結論となる事柄を明確にし、それが正しいことを説明するためには何が必要かを逆向きに考えるなどして、見通しを持って説明を構想し、評価・改善する活動を充実させる。 |
| 図形 | ・三角形の合同条件を成り立たせる3つの要素を図に色や印を付けて対応させるなど、図に示されたことについて記号を用いて示すことと記号で表されたことを図と対応させて読み取ることが的確にできるようにする。 ・三角形の合同条件と命題の仮定を対比し、見通しをもって証明を構想できるようにする。 |
| 数量関係 | ・さいころなどを多数回投げる実験を通して、投げた全体の回数に対するある事象の回数の割合が途中で揺れ動くことはあっても、投げる回数を増やしていくと一定の値に近づいていくことを実感させる。 ・日常的な場面や他教科の学習の場面において、数量の関係を理想化したり、実際のデータを単純化したりして、数学的な表現や処理をすることができるようにする。また、それらを用いて数量関係の特徴を明らかにし、わかりやすく説明する活動を充実させる。 |

学習状況調査の結果

1. 学習状況調査（生徒質問紙）の結果にみられる本校の傾向

| |
|--|
| 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目（本校割合【全国割合】） |
| ・(15) 普段（月～金曜日）何時ごろに寝ますか。（11時より前が57.4%【29.8%】） ・(19) 携帯電話で通話やメールをしていますか。（していない83.4%【44.8%】） ・(23) 家や図書館で、普段（月～金曜日）1日にどれくらいの時間、読書を読みますか。（30分以上40.8%【29.7%】） ・(49) 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。（90.8%【82.4%】） ・(79) 解答を分掌で書く問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか。（83.3%【73.3%】） |
| 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目 |
| ・(2) 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。（68.5%【83.1%】） ・(6) 勉強する時間を自分で決めて実行していますか。（13.0%【38.2%】） ・(10) 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。（51.8%【62.0%】） ・(11) 自分にはよいところがあると思いますか。（53.7%【60.5%】） ・(21) 学校の時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか。（1時間以上37.1%【65.0%】） ・(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強を読みますか。（2時間以上9.3%【36.8%】） ・(35) 家で学校の授業の予習をしていますか。（13.0%【29.5%】） ・(36) 家で学校の授業の復習をしていますか。（16.7%【39.2%】） |

2. 生活習慣・学習環境などに関する改善ポイント

| |
|--|
| ・「生活ノート365」等に「起床・家庭学習・就寝」時間を記録し、継続的に実態を把握しながら、学級活動や個人面談等で予習・復習など家庭学習の大切さについて考えさせ、1日1時間以上の学習計画を立てさせる。（「3点固定」の取組みを開始する。） ・学校通信、学年通信の中に、生活・学習実態状況を掲載し、家庭との連携を深めていく。 ・生徒の学習・生活状況を細かく情報交換し、生徒の達成感・充実感に基づいた肯定的な評価（ほめる）をする。 |
|--|